



女性もCPRが必要です！

心臓疾患でより多くの方が生き残っています — **ただし、女性を除いては**

数字が物語っています
心臓疾患をもつ19,000人以上に対する2017年の研究で次のことが判明しました。



公的な場で見知らぬ人からCPRを受けた**女性**は**39%**しかいなかったのに対し、**男性**は**45%**でした。



心臓疾患で男性が生き残る割合は、**女性よりも23%高い**ものでした。

なぜなら

- 心停止を起こしている女性は、次の可能性が高くなります。
- 心筋の病気である心筋症を患っている
 - AEDで治療できない非衝撃性リズムを持っている
 - 高齢で一人暮らし
 - **さらに、いくつかの一般的な恐れや思い込みによって、助けを得るのが妨げられている可能性があります。**

問題：

CPR + ♀ = ?

トレーニングの環境においてさえ、人々は女性のアバターに対してCPRやAEDを使用する頻度が低くなります

恐れ

「不適切な接触で訴えられる可能性がある」

「物理的な怪我を負わせる可能性がある」

「女性を傷つけたら訴えられる可能性がある」

思い込み

多くは女性は次のようであると信じています。

- その可能性が低い
- 出来事を過剰に表現する

AHAの対応：

問題や恐れを克服するために、AHAは次のような活動を行っています。

認識の向上

女性の心停止に関する認識の向上。



トレーニングの改善。

AHAのCPRに関するトレーニングは、女性のバイスタンダーCPR率を改善させるために、性別に関連する障壁に対処します。これには、トレーニング資料や情報ビデオでの女性の採用が含まれます。

提唱

すべての人の心停止への対応を改善します。善きサマリア人の法は、CPRを実施する人々をある程度保護しています。



恐れを克服してCPRを学びましょう。詳細：international.heart.org/hands-only-cpr